

作文が苦手ではなくなる “ちょっとしたコツ”とは？

それは構成を練るための方法論を学ぶことです。

「何を書けばいいかわからない」「どうやって書いていいかわからない」専用のツール『サクサク作文シート』を使い、原稿用紙に向かう前に、アイデア出しと、構成を練ります。

このパズルのような作業をすることで、頭の中をスッキリとさせます。

まとめあげたシートを見ながら原稿用紙に向かえば、あっという間に原稿用紙2枚サクサク書いてしまいます。

このコツを知るだけで、お子さまが作文を書くのが楽しく好きになります。

授業をご見学頂いた保護者の声

■学校では教わらない内容で、子供達にとっては普段使わない脳を使って学習したと思います。(5年生・保護者)

■キーワードを使ってクイズを出したり、話を作ったりと楽しい内容が盛りだくさんで、とても参考になりました。(3年生・保護者)

■作文という言葉自体に苦手意識があったようですが、楽しく取り組んでいたように思います。私も聞いていてアドバイスのコツがわかった気がします。(4年生・保護者)

■楽しく書くことを教えていただいて、子供も楽しそうでした。家でも何か、書くことへのハードルが下がったので良かったです。(4年生・保護者)

■クイズやビンゴなどで子供たちの興味を引き大人も楽しめました。説明していただいた「下書きの使い方」。これが一番子供に教えたかったので、これさえ伝われば十分です。(4年生・保護者)

■キーワードを考え、作文の構成を下書きして頭の中を整理するという流れが子供にも分かりやすく、良かったと思います。(4年生・保護者)

■基本的なことかもしれませんが、学校の授業ではなかなか時間をかけてくれない内容だと思うので、参加すると文章力がついてくる気がします。(4年生・保護者)

■分かりやすく、大人が聞いていても面白い内容でした。(4年生・保護者)

■子供たちがワクワクしながら考えているのが見て分かったので、とても面白い内容だったと思います。原稿用紙にこんなに楽しそうに向き合っている姿を初めて見ました。(5年生・保護者)

■「頭の中にあるイメージをキーワードにして文章にする=作文」という作業を楽しみながら出来るということが気づけるような内容でとても良かったです。堅苦しくなく和やかで楽しい雰囲気良かったです。子供たちが自然とキーワードを出して、構成を考えていたのが印象的でした(3年生・保護者)

プロフィールクイズに挑戦！

ヒント1

私は昔、薬として使われていました

ヒント2

私の名前は日本語で「みばしょう」です

ヒント3

私の名前を使ったお笑いコンビがあります

ヒント4

私の皮で滑ることがあるかもしれません

ヒント5

私は体が白く、黄色い洋服を着ています

正解は「おやラボ」のホームページで！

保護者の見学、大歓迎です！